

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



四月徳川家康生誕地松平郷
老河松平氏の発祥から戦国時代
の攻防260年の泰平の世をつくりあげた一族の

頭文字「R」
心寄せ合う中で文化育つ
初春今月気淑風和
梅の和歌序文

令和

和の心
新時代へ

激動の幕
未におり
幕府の決
断まで
そして平成
から令和
の時代へ
新しい挑戦
かほじま
た。天下茶屋
から志趣
に梅の花を
観て
狝いで天下
餅と食へ
る。



天下餅と抹茶 室町壁



仮名が生まれたのは10世紀頃という。したがって、その200年ほど前に編まれた日本最古の和歌集「万葉集」は漢字ばかりで埋まっていた。一例として山上憶良の有名な歌から上の句を引けばどうである。八世間乎宇之等夜佐之等於母倍杼母（世の中を憂しとやさしと思へども）夜は時刻を示すものではなく、母も、もじり漢語の音をあてているに過ぎない。どうした和語と漢語が混ざりあう大昔に、美しい漢文を書き入ったものがある。八初春今月、気淑風和の坊も初春の好き月、気は麗しく風はやわらかである。多田臣

梅の歌32首を載せるにあたり万葉集の中に添えられた序文の一節である。和語が背伸びをさせて文化の芽を出さうとしているとき先輩の漢語が懐深き見守りしているように思えなくもはい。そこから2字を引きて元号が「令和」に決まりました。国際性も宿して人々の心を寄せ合



へ好きやわらかな世を作っていくの理想は世界に通用しよう。新天皇と何れも皇太子さまは種子さまによく似合っている。6月2日植樹祭は成功させ

